

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：32663

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2020～2023

課題番号：20K02098

研究課題名(和文) 加齢女性移民とソーシャルウェルビーイング 農村地域に住むフィリピン人を中心に

研究課題名(英文) Older Migrant Women and Social Well-being: Looking at the Case of Filipino Women in Japan's Rural Areas

研究代表者

Zulueta Johanna (Zulueta, Johanna)

東洋大学・社会学部・教授

研究者番号：50732971

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、結婚移民、特に日本の農村地域に住むフィリピン人を対象としたものだった。本研究では、高齢化する女性移民と、彼女らのソーシャル・ウェルビーイングに関する見方と経験を調査した。これらの女性のほとんどは、医療と社会福祉の重要性をソーシャル・ウェルビーイングの一部として考えていることが判明した。しかし、社会的統合は、彼女らのソーシャル・ウェルビーイングの経験において重要な要素でもある。研究結果は論文や書籍の章として出版され、国内外の学会でも発表された。2023年1月には移民と高齢化に関するシンポジウムも開催された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

Japan is facing the realities of an aging society, but it should also consider the aging of the migrant population. One way to address this is to also listen to the voices and know more about the experiences of the migrants who are also aging along with the Japanese.

研究成果の概要(英文)：This research was about rural marriage migrants, particularly Filipinos, who are living in rural Japan. The research focused on rural areas of Yamagata, Niigata, and Akita. Fieldwork data gathered during this period was mostly in the form of semi-structured interviews and participant observation. The research looked at aging female migrants and their views and experiences of social well-being. It was found that most of these women view the importance of health care and social services as part of social well-being. However, social integration is also an important factor in their experiences of social well-being. Research results were published as articles and book chapters and were also presented in conferences, both in Japan and internationally. A symposium on migrants and aging was also held in January 2023.

研究分野：移民研究

キーワード：移民 ジェンダー ソーシャル・ウェルビーイング 農村地域の移民

## 様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

本研究は、日本の地方に住む高齢化する移民女性のソーシャル・ウェルビーイングを調査する。特に、1980年代に日本の地方に移住したフィリピンの女性に焦点を当てる。本研究は、急速に高齢化が進む日本社会において、移民女性の視点から高齢化するプロセスを表す。また、本研究は、高齢化、移民、ソーシャル・ウェルビーイングというそれぞれの概念において、フェミニストとトランスナショナルな観点から考察する。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、日本社会における高齢女性移民の経験を調査することである。また、日本で暮らす高齢女性が直面する課題を調査し、高齢化という現象をどのようにジェンダー化され、またトランスナショナル化されることを考察する。本研究は農村花嫁を対象とし、これらの女性のソーシャル・ウェルビーイングに関して移民と高齢化の経験を考察する。

### 3. 研究の方法

本研究は、4年間行われ、日本の農村地域に住む高齢化する移民女性を対象とした。研究方法として、現地調査(フィールド・ワーク)を3つの地域 秋田県、山形県、新潟県 で行った。主な研究方法は、インタビュー調査であり、カトリック教会としてのコミュニティへの参与観察も実施した。インタビューから収集したデータを書き起こし、コーディンや質的分析を行った。

### 4. 研究成果

4年間の研究期間には、日本の農村地域で移民女性に聞き取り調査を行った。これらの女性のほとんどは結婚の前提で来日し、「農村花嫁」と呼ばれている。現在、彼女らは向老期に入り、高齢に向かっている。本研究では、3つのことを明らかにした： 加齢(エイジング)は、ジェンダー化され、身体的なことだけではなく、社会的な現象になる； 加齢の移民の経験はジェンダー化され、自らが持つ文化的・社会的資本に絡み合っている； 移民のソーシャル・ウェルビーイングには、主観的な要因と他に、社会的ネットワーク、言語・コミュニケーション、在留資格、精神性と宗教、家族の有無も大事な要因である。

日本における移民の高齢化が進み、今後では、山形県、新潟県、秋田県だけでなく、他の地域(四国、九州・沖縄)にも焦点を当てる必要がある。また、この現象は日本のみ現れるものではなく、他の国々にも(例として、韓国)行われている。それゆえに、比較研究することが重要だと思う。今後の展望として、日本と韓国の農村地域における加齢移民を比較する予定である。

また、下記は本研究による実績である：

#### シンポジウム

2023年1月29日(日)に、「エイジング(高齢化)とダイバシティー高齢化社会日本とシンガポールの移民の役割」というシンポジウムが東洋大学白山キャンパスで行われ

ました。その当時、シンガポール国立大学教授の Brenda Yeoh 先生を招待し、keynote speaker として高齢化する社会のシンガポールに関して発表しました。また、日本在住の 3 人の発表はもあり、日本の移民と高齢化に関して発表することになりました。

#### 学会発表

- 1) “Aging Migrants and Social Well-being: The Case of Filipino Women in Rural Japan,” presented at the International Sociological Association (ISA) XX World Congress, Melbourne Convention and Exhibition Centre, Melbourne, Australia, 25 June to 1 July.
- 2) 「高齢女性移民とソーシャルウェルビーイングー農村地域に住むフィリピン人を中心にー」、関東社会学会第71回大会、2023年6月3日-4日、成蹊大学。
- 3) 「高齢女性移民とソーシャルウェルビーイングー農村地域に住むフィリピン人を中心にー」、日本社会学会第95回年次大会、2022年11月12日-13日、追手門学院大学。

#### 出版物

- 1) Zulueta, J.O. (2023). Migrant Women Living in Japan’s Rural Areas.” in Seedat, Mariam and Johanna O. Zulueta (eds). *COVID 19: Sociological Interventions*. Frontpage.
- 2) ズルエタ・ジョハンナ（2003）「パンデミックの高齢女性移民生活基盤への影響 コミュニティ形成する教会へのインパクトの事例研究」。山田健司（編）『新型コロナパンデミック下の医療と移民』。東京：明石書店。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 ズルエタ ジョハンナ
2. 発表標題 加齢女性移民とソーシャルウェルビーイングー農村地域に住むフィリピン人を中心に
3. 学会等名 関東社会学会第71回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Johanna Zulueta
2. 発表標題 Aging Migrants and Social Well-being: The Case of Filipino Women in Rural Japan
3. 学会等名 International Sociological Association World Congress (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 ズルエタ ジョハンナ
2. 発表標題 加齢女性移民とソーシャルウェルビーイングー農村地域に住むフィリピン人を中心に
3. 学会等名 第95回日本社会学会年次大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Johanna Zulueta
2. 発表標題 Ageing, Migration, and Graduated Citizenship: Examining the Case of Older Female Migrants in Japan
3. 学会等名 International Sociological Association World Forum (国際学会)
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 山田健司 (編)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 196
3. 書名 新型コロナパンデミック下の医療と移民	

1. 著者名 Mariam Seedat-Khan & Johanna O Zulueta (編)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Frontpage Publications	5. 総ページ数 334
3. 書名 COVID-19: Sociological Interventions	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------